

消防吏員の充足についての認識と今後の取り組みは

消防業務の魅力発信、勤務環境の整備を進め、安定的な職員確保に取り組む



鈴木 和基
新政田原自民クラブ



新たな防災気象情報について

- 問** 全市民に正しく理解してもらうための周知が重要だと考えるが、その対応は。
- 答** 防災事務連絡会や自主防災活動推進協議会の場で、コミュニティ協議会長や自主防災会長、防災リーダーなどに情報提供を行ったほか、防災リーダー研修会では、CBCテレビの気象予報士を招き、新たな防災気象情報をテーマに講演してもらった。今後もさまざまな機会を捉えて、継続的に市民へ周知していきたい。



令和8年7月1日付で「新政田原自民クラブ」から「田原自民クラブ」に名称が変更になりました。

消防吏員の充足について

- 問** 現在の消防吏員の状況をどのように認識し、今後強固な消防体制を維持していくための充足に向けた取り組みは。
- 答** 市民の安心・安全を確保するためには、消防吏員の充足は必要不可欠であると認識しており、活動紹介や就職説明会への出展などで、職場の雰囲気や消防業務の魅力発信に努め、本市消防本部のPRを積極的に行っていく。
- 問** 女性消防吏員の採用方針と、安心して長く活躍できる職場とするための受け入れ環境整備は。
- 答** 女性消防吏員の割合について、引き続き向上を図っていく必要があると認識をしており、やりがい等が伝わるよう積極的な情報発信に努め、女性受験者の確保につなげていく。また、受け入れ環境の整備については、資機材の軽量化や電動化を進めるとともに、施設面においても女性消防吏員の勤務実態を踏まえながら、安心して勤務できる環境整備に取り組んでいる。

結婚支援について

- 問** 田原市結婚支援センターの会員登録者数100名を目標とする中で、女性登録者を増やすための周知方法は。
- 答** 女性の割合が多いと思われる医療や介護関連の事業所と連携して、市内外に周知を行っていくことを考えている。
- 問** 農業団体や商工業団体、医療・介護関連事業所などで協議会をつくり、情報共有をする考えは。
- 答** 協議会という形で設置をする考えはないが、情報共有の必要性はあると考えるので、まずは各団体と情報共有を行っていきたいと考えている。
- 問** 委託業務の次回以降の実施方法についての考えは。
- 答** 現時点では、これまでの成果や今後生じる課題を次に生かしていくことが重要と考えている。

女性登録者を増やすための考えは

医療や介護関連の事業所と連携して周知を図る



小川 貴夫
自由民主党田原市議団

